



夏の長門牧場(長和町)



第7号
発行 東御・小県地区
保護司会
責任者 渡邊 芳宏
題字 小川 純夫

東御・小県地区の保護司会、更生保護女性会の皆様におかれましては、日頃より「生活環境の調整」、「保護観察」、「犯罪予防活動」といった更生保護活動としまして、安全安心な地域社会づくりにご尽力をいただいておりますことに、心より敬意と感謝を申し上げます。

日本における更生保護施設と保護司制度の先駆けは、「静岡県出獄人保護会社」明治21年(一八八八年)設立にあるといわれております。事業内容としては、釈放者の宿泊保護や就職斡旋を行うとともに、静岡県内に一七〇〇人にも及ぶ保護委員を配置し、釈放者の保護に当たられたとのことです。

令和7年版犯罪白書によりますと、令和6年一年間の刑法犯認知件数は七三万七六七九件と前年比で3万件以上増加しました。検挙者の総数は一九万一二六八人、うち初犯者は一〇万三二二九人、再犯者は八万八六九七人で、再犯率は46.2%でしたが、令和3年から4年連続で減少傾向となっております。



長和町教育長 藤田 仁史

全ての人の人権を守る

います。これは、本人の反省もさることながら、関係する皆様方の更生保護法に沿った日々の活動により、犯罪や非行をした人が社会に出たあと孤立せず、地域社会での居場所や仕事確保できたことで、再び罪を犯すことなく、善良な社会の一員として自立する人が増えてきているといえます。改めて更生保護活動という大変な役割を担っていただいている皆様にお礼を申し上げます。

学校教育においては、小学校第一学年及び第二学年の道徳教育で「善悪の判断」良いことと悪いことの区別、「正直、誠実」嘘をついたりごまかしたりしない。「親切、思いやり」身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。「規則の尊重」約束や決まりを守り、みんなが使うものを大切にする。「生命の尊厳」生きることのすばらしさを知り、生命を大切にする。などを学び始めます。この機会に、私も道徳についてもう一度考え理解を深めるとともに、より良く生きていくために、自己を見つめなおしてみたいと思います。



人と人との
ふれあいや信頼
関係・愛情は
大切なことだ

更生保護マスコット
キャラクター・ホゴちゃん



東御・小県地区の更生保護活動や市町村の話題

東御市
今回で3回目となる「社会を明るくする運動」ぬり絵大会が田中地区地域づくりの会主催のハロウィン企画で保育園・小学校のみなさん約200人の参加で開催されました。今号では皆さんに「ぬり絵大会」のキャラクターである可愛いペンギンの「ホゴちゃん・サラちゃん」のお話をします。悪いことばかりする非行ペンギンだったホゴちゃんとサラちゃんも、保護司のクジラ先生や協力雇用主のアシカ親方など色々な人とのふれあいを通じて立ち直り、非行(飛行)しない更生(皇帝)ペンギンとなっていく物語のイラストです。

長和町
令和7年7月10日
保護司会と更生保護女性会協賛で、全町の園児・小学生に、ながと保育園・長門小学校の2会場で日本の伝統工芸である「猿まわし」公演を「社会を明るくする運動」強調月間に併せて行いました。未来を担う子供たちに笑いと癒しを提供し明るく健やかに育つてくれることを願った公演です。井出十夢さんと相棒「コモ太」君によるパフォーマンスに大きな歓声と笑い声が会場に響きました。

青木村
青木村では令和7年10月に新しい情報通信ネットワークの整備が完了しました。従来の電話機能に加え、テレビでのデータ放送、スマートフォンでの情報提供アプリなどの新しい情報サービスが加わりました。「誰一人取り残さない」という方針のもと、多様な情報提供が実現し、様々な利用者間での情報共有が可能となりました。地域コミュニティがますます充実し、犯罪、教育、健康等の福祉の向上や住民間の支えあい深化につながります。

東御・小県地区
更生保護女性会の活動

長野県更生保護女性連盟への加入は、東御・小県地区更生保護女性会として加入をしております本年の会員数は106名です。



令和7年10月20日国宝、松本開智学校
「先人の英知に触れて」

毎年行なう総会の事業報告で、長和町では、和田峠で壮絶な死を遂げて殉職された警察官の慰霊碑周辺の清掃活動。保育園と小学校で保護司会が開催した「こもたくん」の猿まわしの手伝い。3月に「みすず寮」を訪問等行いました。青木村は、保護司の皆さんと交流会を行い意見交換などしました。東御市では、4月に、みまき診療所の天田先生の子どもに関する講演会、9月に、上田母子寮武捨総括官の講演会、10月に松本市のみすず寮等を視察。5地区ではそれぞれ子育て支援活動などを実施しました。各市町村の多くの活動状況をお聞きして、自分たちの活動の参考になるお話が沢山ありました。

長野県更生保護女性連盟の参加要請のある会議にも共に参加し、東御・小県地区更生保護女性会の活動が更に輝くものになるよう願っております。

東御・小県更生保護女性会 阿部 貴代枝

会長挨拶

地域とともに歩み、

地域に貢献する更生保護

東御・小県地区保護司会会長 渡邊 芳宏

東御小県保護司会は、東御市・長和町・青木村の3市町村で構成され活動を共にしています。地域の皆様には日頃から当会の活動にご理解をいただき厚くお礼申し上げます。

令和7年度は更生保護・保護司を取り巻く環境が大きく変化しました。6月には刑法が改正されより「更生・再犯防止に軸足を移す」との新聞記事。また12月には「保護司法」の改正が決まり今年中には実施されるとの事です。

近年保護司の担い手確保が年々困難となり適任者確保が課題になってきています。改正の主な内容は「持続可能な保護司制度の確立」です。適任者確保に向け各市町村自治体の方々の協力も今以上に頂ければと思います。

保護司は犯罪や非行をした人の自立更生を助けると共に、犯罪予防の活動にも取り組み、地域の安全・安心に貢献しています。当保護司会の保護司のみなさんも多くの方はお仕事をされている中可能な限り活動できるような体制を考慮し事業を計画しました。

「地域とともに歩み、地域に貢献する更生保護」を目指します。地域の皆様には、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

お疲れさまでした

退任保護司の紹介

令和7年11月退任（長和町）小林 悦子
令和8年5月退任（東御市）直井 良一

長きに渡り、東御・小県地域の更生保護活動にご尽力いただきありがとうございます。ありがとうございました。

よろしくお願いします

新任保護司のあいさつ

（長和町）児玉 和徳

昨年令和7年11月1日付で保護司に委嘱されました。

親しい先輩であるベテラン保護司に推薦を頂き、大変な仕事と躊躇しておりましたが、地域に少しでも貢献できればと承諾いたしました。

誰も皆、生きていく上には、失敗、挫折、後悔は必ずあります。私も失敗と後悔ばかりの人生ですが、『罪を恨んで人を恨まず』社会復帰を目指す方に、より添い、励まし、また諸先輩方のご指導を仰ぎながら努めてまいる所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

（東御市）坂口 光枝

昨年12月に保護司を拝命いたしました。新任研修会を受講し、改めて、立ち直りを支える地域の力として任

務の重さを感じております。気負わず、研修に参加しながら、更生保護活動に努めてまいります。皆様のご指導をよろしく願います。

（東御市）春日 千恵子

初めまして。春日千恵子と申します。この度、皆様の仲間入りをさせていただくことになりました。

新任の研修を終えましたが、まだ何もわからず不安です。

少しでも力になれるよう、精一杯励むつもりです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

祝 おめでとございます

第70回長野県更生保護大会において、多年に渡る功績により表彰を受けられました。（令和7年10月24日）

全国保護司連盟理事長表彰

（青木村）宮原 満
（敬称略）

令和7年度の主な事業

5月15日 総会・第1期研修会（東御市）
7月1日 社会を明るくする運動
街頭広報活動（田中・滋野駅前）
8月26日 第2期研修会（青木村）
10月24日 第70回長野県更生保護大会
10月25日 社会を明るくする運動
ぬり絵大会（東御市・田中商店街）
11月11日 第3期研修会（長和町）

令和8年度の主な事業予定

5月22日 総会・第1期研修会（東御市）
7月1日 社会を明るくする運動
街頭広報活動（田中・滋野駅前）
8月24日 第2期研修会（青木村）
10月23日 第71回長野県更生保護大会
10月中旬 社会を明るくする運動
ぬり絵大会（東御市・田中商店街）
11月13日 長野県更生保護女性連盟 70周年記念大会
11月18日 第3期研修会（長和町）

令和8年度役員紹介

会 長 渡邊 芳宏（東御市）
副会長兼会計 宮澤 清治（長和町）
副会長兼サポートセンター長 清水八重子（東御市）
理 事 松本 淳英（青木村）
小林 和夫（長和町）
高木 和浩（東御市）
監 事 丸山 宏子（長和町）
田中 信寿（東御市）

東御小県保護司会
サポートセンターのご案内

場 所 東御市総合福祉センター内
電 話 0268(71)0244
時 間 月曜日・水曜 午前9時～正午
※更生保護に関するご相談を受け付けております。お気軽にご来所ください。

事務局

荒井千加子・堀口 海
（事務局・東御市福祉課内）

東御・小県地区から7名が入賞・入選！

社会を明るくする運動

第75回 長野県作文コンテスト

入賞・入選者の皆さん

【最優秀賞・社会を明るくする運動長野県推進委員長賞】
東御市立東部中学校2年 堀内 夏葉さん

【入選】
東御市・北御牧小学校6年 塩川 心結さん

長和町・長門小学校6年 竜野 芽衣さん

長和町・長門小学校6年 竹之内 三伶さん

長和町・長門小学校6年 竹内 梓さん

東御市・東部中学校3年 小田中 芽唯さん

東御市・東部中学校3年 栗原 瑞樹さん

※令和7年度当時の学年です。

堀内夏葉さんの最優秀賞作品

今日を明るく過ごすために

私の母は、朝早く起きて洗濯や朝食作りなどの家事を全て一人で済ませ出勤する。少し前まで、母は私とほとんど同じ時間に家を出ていた。しかし、最近仕事に忙しくなり私よりも早く出勤するようになった。そんな生活が始まった頃、私はその小さな変化を気にせず、いつも通りに過ごしていた。

けれど、忙しそうに毎日を過ごす母を見ているうちに、私は日常の変化を実感するようになった。母は仕事から帰るのも遅くなり、帰宅後も休まず家事をしている。私には、母にとって日常が苦しく感じているように見えた。前のように学校や仕事のことをお互いに話す時間も減った。私は、忙しい母に声をかける勇

気が出ないままだった。
「たまには休んでね。」

たくさん話せなくてもいい。ただ、少しでも母の生活が楽になってほしいと思った。

そんなある日、私は学校で友人に強く当たってしまった。何か嫌なことをされたわけでもないが、きつい言葉をぶつけた。自分でもどうすればいいのかわからなくなってしまった。その日から、私は友人を避けるようになった。そして理不尽に当たったことを謝れない自分自身に嫌気がさしていた。そんな心情を抱え、悩みながら数日を過ごした。けれど、私の心は落ち込むばかりで、時間の経過は無意味だった。

（お母さん、話聞いてくれるかな。）

今日はどうしても話したい。そう思った日があった。もうこんな自分は嫌だと思ひ、家に帰った。

「ただいま。」

「おかえり。」

母の声を聞いた途端、私は涙が止まらなくなつた。この涙が私にとって「助けて」というサインだった。私の顔を見た母は驚いた表情をしながら、すぐにタオルを差し出して、私を抱きしめてくれた。そして母は、私が全てを話せる空間を作ってくれた。久しぶりの私と母が向き合える時間にうれしさが溢れた。その後、私は母に友人との出来事を話した。私が悪い行動をとったことは母に伝わったはずだ。それなのに、母は優しい笑顔を見せた。

「大丈夫だよ。一人で頑張ったね。」



そう言つて、私のことを受け止めてくれた。私はそれを聞くと、今まで抱えていた不安が一気に軽くなった気がした。私は今の自分と向き合い、変わるうと思った。次の日、勇気を出して友人に謝つた。声を絞りながら、不安に押しつぶされそうになった。すると友人は「気にしないで。ずっと一緒にいようね。」と笑って答えた。その一言に、私は安心と嬉しさが胸がいっぱいだった。

その日から、今まで母との間に感じていた距離も戻った気がした。私が学校の出来事を楽しく話せるようになってからは、母も笑顔で聞いてくれる。母は私との会話を楽しんでいるように感じた。些細な対話が、私と母の心の支えになっていったことを知り、その対話が日常に戻ってきたことが嬉しかった。

私が大切にしたいのは、心の不調を和らげ自分を受け止めてくれる空間だ。生活する上で、心の不調は誰もが抱えるものである。この中には、辛さや不安、劣等感などがあり、人の感じ方によつて違う。これらが大きくなると、普段通りの

生活が送れなくなったり、正しくない行動をとってしまう原因になると思う。これが、犯罪や非行を犯してしまうことへつながるのではないだろうか。だから、誰もが心の不調を和らげる空間を持つことが大切だ。自分の心が限界になる前にSOSを出せる相手がいれば、心の不調が大きくなるのを防ぐことができると思う。

しかし、心の不調をケアすることができずに、犯罪や非行を犯してしまう人がいる。これは、私が友人に強く当たってしまったことと似ていると思う。けれど、そんな時でも私を受け止めてくれた母や友人の支えが大きな救いになった。この支えがあったことで私は今、前向きに人とかわることができるようになったと思う。それと同じように、犯罪や非行を犯してしまった人の事実を受けとめ、支えとなる空間が必要だ。これは、その人が将来を明るく生きる、大きな力になる。そのために私たちができるのは、周囲の人の温かさにふれ、お互いを認め合う心を大切にする。そして、自分も相手を支えようとする気持ちを忘れないことだ。これは、きつと一つの助け合いにもなる。そして誰もが認められ、自分の在り方に自信を持てる社会になれば良いなと思う。

今日を明るく過ごすために、
「ありがとう。行ってらっしゃい。」
この言葉を、毎日母に伝えていこうと思う。

これが、私たちの明るい未来をつくる大きな一歩になるはずだ。